

タブレットPC導入の成果

昨年導入したタブレットPC・iPadは、いまや毎日の学習に欠かせない道具です。

子どもたちは、多くの授業でiPadを活用しています。インターネットを使って調べるだけではありません。学級全員のタブレットとつながることで、個人の考えを深めることができるようになりました。これまでは、意見をもった児童が一人ずつ挙手、発言して、教師が考えをまとめることで授業を進めてきました。しかし、タブレットを使うことで、一人一人の意見を全員の画面に映し出すことができます。すると、自分と同じ意見はもちろん、思いがけない意見にも気付きます。皆の意見を瞬時につかむことができるのです。これまで挙手が苦手だった子の意見も大切にされるようになり、誰もが授業に参加する意義を感じながら学ぶことができます。



3年生理科「チョウを育てよう」

理科では、幼虫の写真を撮影し自分だけの観察記録をつくることで、日々の変化に気付くことができました。図画工作のスケッチは、やり直しができるため、絵の具の扱いが苦手だった子も繰り返し挑戦ができ、発想を活かした作品を生み出すことができました。音楽では、コロナ禍でリコーダーを吹くことができない状況でも、演奏を楽しみました。

iPadの活用によっては、子どもたちの苦手なことに寄り添ってつまづきを減らすことで、主体性を育みあきらめずに挑戦する姿を育てています。

学校運営協議会の実施

学校運営協議会を5月12日に開催しました。これは学校運営に地域の声を積極的に生かし、学校と地域住民が力を合わせて特色ある学校づくりを進めていくための仕組みです。富岡校区の諸団体（青少年育成市民会議、富岡公民館、自治会連合会、子供会、見守り隊、中学校）の代表の皆さんや主任児童委員さん、PTA役員が一斉に介し、学校の教育活動について率直なご意見をいただきました。



シールドと換気による感染対策

コロナ禍での地域連携の方法や、地域での見守りの仕方等、地域の視点から学校運営を改善し、子どもたちの育成に活かしていきます。

運動会の延期について

5月22日に予定していた運動会を秋に延期しました。一生懸命に準備を進めてきた応援団や委員会をはじめ、運動会を心から楽しみにしてきた人には、本当に残念なお知らせになりましたが、今はしばらく感染症がおさまるのを待ちたいと思います。

運動会延期の決定について、全校からよせられた子どもたちの意見を紹介します。

「その日のためにがんばってきたことが延期にされ、残念という気持ちがたくさんあります。」

「運動会が延期になってとても悲しいです。時間はあるから、最高の運動会を家族に見せたい。」

「延期になったので残念だけど、秋に運動会をするために全力でコロナ対策をしていきたいです。」

一人一人の願いや思いを大切に、秋には運動会を楽しめるように準備をすすめていきます。

コロナ禍の今こそ、人の優しさを

これまでの新型コロナウイルスに関する知見によると、感染防止対策は「マスク着用」「手洗い」「手指消毒」「人との距離の確保」「体調の管理」を徹底することです。変異種の感染力の強さが心配されていますが、対処は同様です。ただし、誰もが感染する可能性があることは否定できません。今、子どもたちに伝えていることは、感染者に対する差別や偏見を許さないことです。感染者や感染したことを責めるのではなく、衛生管理を徹底し、更なる感染を防ぐことが大切です。自分が差別を行わないだけでなく、身の周りに差別等につながる発言や行動があったときには、「そんなことはやめよう」と声をあげることです。

人の優しさはウイルスとの闘いの強い武器になることを、ご家庭でもご指導願います。